


【件名】	夢の島公園西地区護岸改修工事（その2）	【事務所名】	東部公園緑地事務所	
【工事場所】	東京都江東区夢の島一丁目地内	【受注者名】	東急・トマック建設共同企業体	
【工期】	平成29年2月6日から平成30年2月21日まで	【主たる技術者名】	現場代理人兼監理技術者 川口 成二郎	

【工事概要】

本工事は、夢の島公園西地区において、老朽化した護岸の改修を行ったものである。

【表彰理由】（※発注者側評価）

現場代理人兼監理技術者は、工事全般をよく把握し、監督員に対する施工期間中の連絡・報告や、近接護岸工事及び公園管理者への連絡調整を適切に実施した。

現場での不測の事態（湧水・鋼矢板の著しい腐食）を確認した際、監督員へ速やかに報告するとともに、対応案を提示するなど解決に向けて積極的に調整を行った。

出来形・品質管理記録は、簡潔にまとめられており、不可視部分の記録写真などは適切に管理されていた。

3Dスキャナーを取入れた鋼管矢板の計測管理や近隣野球チームを招待した現場見学会の実施により、建設業の技術発展及び魅力発信に貢献した。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

既存鋼矢板引抜き工事に苦労しました。45年前に施工された鋼矢板は腐食が激しいため、上部腐食部分を除去したのち、水中でパイプロにて掴み直す等多くの時間を要しました。

◇ 特に工夫した点

全工期を通じて事故だけは起こさないように、全作業従事者で作業手順と作業内容の理解を深めました。また朝礼や昼礼などで事故事例や安全情報を提供し、安全の意識付けをしました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

受注時、上部工コンクリート打設は、冬に打設する見当でしたが、品質向上のため、『秋に打つ』と着手時に目標設定し、これに向けて工程管理し秋に打設することが出来ました。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

我々が作ったもので、社会の安全を保障する重要な使命を担います。多くの経験を積んで、自信をもって、良い製品を世の中に提供できるようになってください。



既存鋼矢板の引抜き状況